2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名	京成電鉄株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9009	URL	https://www.keisei.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	天野　貴夫
問合せ先責任者	（役職名） 経理部連結課長	（氏名）	杉森　英一　　TEL　047-712-7100
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月４日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（ 機関投資家・アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	173,961	5.7	21,936	5.5	33,258	10.1	25,250	6.4
2026年３月期中間期	164,628	4.2	20,802	△5.8	30,196	△4.2	23,723	10.4

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　20,960百万円(△36.8%)　　2026年３月期中間期　33,143百万円(56.0 %)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	52.36	―
2026年３月期中間期	49.20	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	1,211,287	590,436	47.3
2026年３月期	1,181,801	575,605	47.2

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期 572,352百万円　　2026年３月期 557,829百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	9.00	―	12.00	21.00
2027年３月期	―	11.00			
2027年３月期(予想)			―	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	359,800	8.2	31,000	△8.8	50,500	△13.8	39,300	△18.2	81.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	517,233,555株	2026年３月期	517,233,555株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	34,994,337株	2026年３月期	34,994,337株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	482,239,218株	2026年３月期中間期	482,230,739株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１.本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料４ページ「１.（３）　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

２.当社は、2026年11月18日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

３.決算補足説明資料は、当第２四半期（中間期）決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報） …… 9
３．決算補足説明資料 …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費及び雇用情勢に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復となりましたが、中東情勢の影響等による原材料費の高騰や長期金利の動向については引き続き注視する必要があります。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画「Ｄ２プラン」（2025～2027年度）を策定し、「新たなグループ経営推進体制のもと、長期ビジョン実現に向け、空港アクセス強化を推進するとともに、外部環境変化への耐性強化を目指す」を中期経営目標として掲げ、諸施策を推進してまいりました。

また、グループ経営体制の強化に向けた取り組みとして、営業力・採用力の強化等を目的に、４月１日に京成バス株式会社の吸収分割及び合併をもって、バス事業の再編を完了し、新たな体制で営業を開始いたしました。なお、10月１日に千葉日石株式会社の全株式を取得し、同社を子会社化いたしました。

以上の結果、営業収益は1,739億６千１百万円（前年同期比5.7％増）となり、営業利益は219億３千６百万円（前年同期比5.5％増）となりました。経常利益は、332億５千８百万円（前年同期比10.1％増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、252億５千万円（前年同期比6.4％増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

＜運輸業＞

鉄道事業では、押上～成田空港間を2028年度に運行開始する新型有料特急車両（3900形）のコンセプト及びデザインを公開し、愛称の募集をいたしました。また、空港第２ビル駅の混雑緩和を目的として、成田国際空港株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、成田空港高速鉄道株式会社と連携し、改札内外の改良等に着手いたしました。さらに、松戸駅等のリニューアル工事や、堀切菖蒲園駅、青砥駅、京成高砂駅、鬼越駅等において、ホームドア整備を推進いたしました。このほか、安全輸送確保の取り組みとして、運行管理装置や変電所設備の更新、高架橋及び駅の耐震補強工事を推進いたしました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事のほか、本線荒川橋梁架替事業において、高架橋躯体新設工事等を推進いたしました。また、成田空港の機能強化に伴う輸送力増強に向けた宗吾車両基地拡充工事において、基礎及び躯体工事等を推進いたしました。

営業面では、海外プロモーションの強化として、海外旅行博への出展やインターネット広告の活用等、インバウンド需要の着実な取り込みを図りました。また、９月には３代目「京成スカイライナー」をご利用されたお客様が7000万人となったことを記念して、式典を開催したほか、記念ヘッドマークを掲出したスカイライナー車両を運行するなど各種施策を実施いたしました。

バス事業では、高速バス路線及び一般乗合バス路線において、需要動向を踏まえたダイヤ改正や一部の路線で運賃改定を実施するなど、収益の拡大及び効率的な運行を図りました。また、東京BRT株式会社及び京成バス東京株式会社では、一般乗合バス路線において、東京駅・選手村ルートの運行を開始いたしました。さらに、環境への取り組みとして、バス事業の再編完了に伴い、デザインを統一した制服へのリニューアルを推進し、同制服では再資源化された衣料素材を一部使用いたしました。このほか、関東鉄道株式会社において、EV（電気自動車）車両５両を導入いたしました。

タクシー事業では、乗務員の採用の強化等により、需要の着実な取り込みを図ったほか、環境への取り組みとして、帝都自動車交通株式会社において、補助金制度を活用し、FCEV（燃料電池自動車）車両16両を導入いたしました。

このほか、京成グループでは、メジャーリーグ・ベースボールのオフィシャルパートナー契約を締結し、今年度よりロサンゼルス・ドジャースに所属する佐々木朗希選手を起用した広告の掲出や鉄道・バス・タクシー車両へのラッピング等を実施し、各種プロモーションを展開いたしました。

以上の結果、営業収益は1,068億６千万円（前年同期比4.8％増）となり、営業利益は131億６千９百万円（前年同期比7.5％増）となりました。

＜流通業＞

流通業では、株式会社京成ストアが運営する「リブレ京成」において、コード決済サービス「AEON Pay」の対象店舗を全店に拡大したほか、「八千代台ユアエルム店」等にて、当日配送サービス「リブルン便」を導入いたしました。また、株式会社コミュニティー京成において、「リトルマーメイド新鎌ケ谷駅店」、「タリーズコーヒー新鎌ケ谷駅店」を商業施設「ekubo京成　新鎌ケ谷」にオープンしたほか、京成トラベル千葉中央営業所を「千葉サロン」としてリニューアルオープンし、収益及び集客の拡大に努めました。また、同店舗の内装に、京成グループで不要となった制服をアップサイクルした繊維リサイクルボードを活用し、環境負荷の低減に取り組みました。

以上の結果、営業収益は313億６千１百万円（前年同期比2.7%増）となり、営業利益は３億４千万円（前年同期比92.4%増）となりました。

＜不動産業＞

不動産賃貸業では、事業基盤の拡充及び沿線活性化に向け、八千代市の大型商業施設「イオンモール八千代緑が丘」を取得したほか、新津田沼駅周辺の再整備による新たなランドマーク化を目指し、駅直結の「イオンモール津田沼South」の開業に続き、10月の開業に向け、隣接する賃貸施設「mina津田沼」の改修工事を推進いたしました。

不動産販売業では、中高層住宅「ルネ柏ディアパーク」の引き渡しを開始したほか、成田空港の機能強化に伴う成田地域の住宅需要拡大に応えるため、中高層住宅「ルネ成田サングランデ」を販売いたしました。また、成田市橋賀台において、戸建住宅開発における造成工事を推進いたしました。さらに、来年度引き渡し開始予定の超高層住宅「プレミストタワー船橋」を販売したほか、「サングランデ南流山ザ・パーク」の建設工事を推進いたしました。

このほか、新鎌ヶ谷駅前における複合開発として、商業施設「ekubo京成 新鎌ケ谷」及び駅の南北を往来可能とする南北自由通路、「にぎわいの広場」が９月に開業し、駅周辺のにぎわいの創出と回遊性向上に貢献いたしました。

以上の結果、営業収益は206億２千６百万円（前年同期比10.7%増）となり、営業利益は68億７千７百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

＜レジャー・サービス業＞

レジャー・サービス業では、インバウンドを中心とした需要の着実な取り込みを図りました。ホテル業では、アジア圏の旅行代理店への営業を強化し、集客を図ったほか、筑波観光鉄道株式会社において、役目を終えた関東鉄道株式会社の路線バス車両を活用し、筑波山京成ホテル宿泊者限定の休憩施設としてお楽しみいただける「BUSルーム」をオープンいたしました。また、株式会社イウォレ京成において、「サブウェイ　ekubo京成　新鎌ケ谷店」をオープンし、収益拡大に努めました。さらに、鋸山ロープウェー株式会社等において、各種イベントや記念乗車券の発売を実施し、収益及び集客の拡大に努めました。

以上の結果、営業収益は84億４千８百万円（前年同期比4.5%増）となり、営業利益は４億４千３百万円（前年同期比22.8%減）となりました。

＜建設業＞

建設業では、宗吾車両基地拡充工事をはじめとする鉄道施設改良工事や新鎌ヶ谷駅前における商業施設建設工事等を実施したほか、当社グループ外からの受注工事として、北海道新幹線整備工事や都内のビジネスホテルの新築工事等を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は186億８百万円（前年同期比2.1%増）となり、営業利益は９億１千３百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

資産合計は、前期末比294億８千６百万円（2.5%）増の１兆2,112億８千７百万円となりました。これは、「有形固定資産」が増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比146億５千５百万円（2.4%）増の6,208億５千万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が減少したものの、有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比148億３千１百万円（2.6%）増の5,904億３千６百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想については、当中間連結会計期間までの業績を踏まえ検討した結果、2026年５月８日に公表した数値を据え置いております。

今後の動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,386	35,125
受取手形、売掛金及び契約資産	37,836	37,075
分譲土地建物	12,809	13,858
商品	2,348	2,313
仕掛品	202	356
原材料及び貯蔵品	4,893	5,510
その他	18,420	17,159
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	110,876	111,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	354,663	360,329
機械装置及び運搬具（純額）	34,543	32,112
土地	235,242	252,979
リース資産（純額）	32,086	35,845
建設仮勘定	96,669	97,645
その他（純額）	4,907	4,631
有形固定資産合計	758,112	783,543
無形固定資産		
リース資産	979	891
その他	11,261	10,606
無形固定資産合計	12,240	11,497
投資その他の資産		
投資有価証券	281,209	283,790
長期貸付金	243	233
退職給付に係る資産	167	166
繰延税金資産	14,167	16,249
その他	4,530	4,206
貸倒引当金	△163	△162
投資その他の資産合計	300,154	304,485
固定資産合計	1,070,507	1,099,526
繰延資産	417	382
資産合計	1,181,801	1,211,287

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,069	20,123
短期借入金	72,251	58,523
コマーシャル・ペーパー	23,000	36,000
１年内償還予定の社債	―	10,000
リース債務	5,526	5,930
未払法人税等	6,587	6,672
賞与引当金	4,827	5,097
その他	115,187	96,030
流動負債合計	257,449	238,377
固定負債		
社債	130,000	120,000
長期借入金	115,229	154,769
鉄道・運輸機構長期未払金	27,700	26,218
リース債務	23,408	27,190
繰延税金負債	2,037	2,459
退職給付に係る負債	36,203	36,125
その他	14,166	15,709
固定負債合計	348,746	382,473
負債合計	606,195	620,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	35,038	35,325
利益剰余金	518,404	537,820
自己株式	△52,407	△52,407
株主資本合計	537,839	557,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,155	9,892
繰延ヘッジ損益	2,934	2,110
退職給付に係る調整累計額	2,899	2,807
その他の包括利益累計額合計	19,989	14,809
非支配株主持分	17,775	18,084
純資産合計	575,605	590,436
負債純資産合計	1,181,801	1,211,287

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業収益	164,628	173,961
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	117,372	122,728
販売費及び一般管理費	26,453	29,296
営業費合計	143,826	152,024
営業利益	20,802	21,936
営業外収益		
受取利息	223	218
受取配当金	360	470
持分法による投資利益	9,772	12,737
雑収入	1,232	1,232
営業外収益合計	11,588	14,659
営業外費用		
支払利息	1,578	2,338
雑支出	616	998
営業外費用合計	2,194	3,337
経常利益	30,196	33,258
特別利益		
工事負担金等受入額	196	210
投資有価証券売却益	―	163
固定資産売却益	172	3
持分変動利益	195	―
その他	93	0
特別利益合計	658	377
特別損失		
固定資産除却損	136	328
固定資産圧縮損	81	93
その他	45	3
特別損失合計	263	425
税金等調整前中間純利益	30,591	33,211
法人税、住民税及び事業税	5,743	6,566
法人税等調整額	226	503
法人税等合計	5,970	7,070
中間純利益	24,621	26,141
非支配株主に帰属する中間純利益	897	891
親会社株主に帰属する中間純利益	23,723	25,250

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	24,621	26,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,855	△4,729
退職給付に係る調整額	148	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	2,517	△417
その他の包括利益合計	8,521	△5,180
中間包括利益	33,143	20,960
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	32,245	20,070
非支配株主に係る中間包括利益	898	890

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

（単位:百万円）

	報告セグメント						計	調整額	中間連結損益計算書計上額
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業		(注) 1	(注) 2
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	101,775	29,490	14,809	6,353	9,721	2,478	164,628	―	164,628
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	147	1,043	3,830	1,729	8,495	2,643	17,889	△17,889	―
計	101,922	30,533	18,639	8,082	18,217	5,121	182,518	△17,889	164,628
セグメント利益	12,255	176	6,457	574	1,027	285	20,778	24	20,802

(注) 1　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

1　報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

（単位:百万円）

	報告セグメント						計	調整額	中間連結損益計算書計上額
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業		(注) 1	(注) 2
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	106,816	29,876	16,806	6,503	11,320	2,637	173,961	―	173,961
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	44	1,485	3,819	1,945	7,287	2,891	17,474	△17,474	―
計	106,860	31,361	20,626	8,448	18,608	5,529	191,436	△17,474	173,961
セグメント利益	13,169	340	6,877	443	913	157	21,903	33	21,936

(注) 1　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2　報告セグメントの変更等に関する事項

株式会社コミュニティー京成において、生活・サービス事業分野における機能集約、収益力・競争力強化を図るため、レジャー・サービス業に区分していた京成トラベルサービス株式会社を吸収合併し、同社における全事業を流通業に区分しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、合併後の区分により作成したものを記載しております。

３．決算補足説明資料

▮連結損益計算書

・インバウンド需要増大に伴う運輸業における成田空港輸送の増加等により、増収増益
・不動産業において、新規賃貸物件の寄与、中高層分譲住宅の引き渡し増加等に伴い増収増益
・持分法による投資利益の増加

単位:百万円、%		2025/9 実績	2026/9 実績	増 減	率
運輸業	営業収益	101,922	**106,860**	4,937	4.8
	営業利益	12,255	**13,169**	913	7.5
流通業	営業収益	30,533	**31,361**	828	2.7
	営業利益	176	**340**	163	92.4
不動産業	営業収益	18,639	**20,626**	1,987	10.7
	営業利益	6,457	**6,877**	419	6.5
レジャー・サービス業	営業収益	8,082	**8,448**	366	4.5
	営業利益	574	**443**	△ 131	△ 22.8
建設業	営業収益	18,217	**18,608**	390	2.1
	営業利益	1,027	**913**	△ 113	△ 11.0
その他の事業	営業収益	5,121	**5,529**	407	8.0
	営業利益	285	**157**	△ 127	△ 44.7
小計	営業収益	182,518	**191,436**	8,918	4.9
	営業利益	20,778	**21,903**	1,125	5.4
連結修正	営業収益	△ 17,889	**△ 17,474**	414	-
	営業利益	24	**33**	9	36.8
連結	営業収益	164,628	**173,961**	9,332	5.7
	営業利益	20,802	**21,936**	1,134	5.5
営業外収益		11,588	**14,659**	3,071	26.5
営業外費用		2,194	**3,337**	1,143	52.1
経常利益		30,196	**33,258**	3,062	10.1
特別利益		658	**377**	△ 280	△ 42.7
特別損失		263	**425**	161	61.6
税金等調整前中間純利益		30,591	**33,211**	2,619	8.6
法人税	法人税等	5,743	**6,566**	822	14.3
	同調整額	226	**503**	276	122.2
	計	5,970	**7,070**	1,099	18.4
中間純利益		24,621	**26,141**	1,519	6.2
非支配株主に帰属する中間純利益		897	**891**	△ 6	△ 0.7
親会社株主に帰属する中間純利益		23,723	**25,250**	1,526	6.4

営業外収益

持分法による投資利益	9,772	**12,737**

※吸収合併に伴い、レジャー・サービス業の一部事業を流通業に移管しているため、前年実績については、移管後の区分に組み替えて記載しております。

▌主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2025/9 実績	2026/9 実績	増 減	率
鉄道事業	営業収益	53,429	**55,104**	1,674	3.1
	営業利益	9,688	**10,931**	1,243	12.8
バス事業	営業収益	30,721	**32,317**	1,595	5.2
	営業利益	2,237	**1,646**	△ 590	△26.4
タクシー事業	営業収益	17,771	**19,438**	1,667	9.4
	営業利益	330	**592**	261	79.3
運輸業	営業収益	101,922	**106,860**	4,937	4.8
	営業利益	12,255	**13,169**	913	7.5

・流通業

単位:百万円、%		2025/9 実績	2026/9 実績	増 減	率
ストア業	営業収益	22,922	**23,340**	418	1.8
	営業利益	312	**334**	21	7.0
百貨店業	営業収益	4,951	**5,295**	343	6.9
	営業利益	△ 270	**△ 143**	126	-
その他	営業収益	2,660	**2,725**	65	2.5
	営業利益	134	**149**	15	11.3
流通業	営業収益	30,533	**31,361**	828	2.7
	営業利益	176	**340**	163	92.4

・不動産業

単位:百万円、%		2025/9 実績	2026/9 実績	増 減	率
賃貸業	営業収益	14,652	**15,931**	1,279	8.7
	営業利益	6,157	**6,537**	379	6.2
販売業	営業収益	1,147	**1,496**	349	30.5
	営業利益	79	**128**	49	62.7
管理業	営業収益	2,840	**3,198**	357	12.6
	営業利益	221	**211**	△ 9	△4.5
不動産業	営業収益	18,639	**20,626**	1,987	10.7
	営業利益	6,457	**6,877**	419	6.5

▮鉄道事業　輸送人員及び旅客運輸収入内訳表（単体）

単位:千人、百万円、%		2025/9 実績	2026/9 実績	増 減	率
輸送人員	定期	113,317	**116,143**	2,826	2.5
	定期外	84,083	**86,632**	2,549	3.0
	計	197,400	**202,775**	5,375	2.7
	うち成田空港発着	(14,380)	**(14,333)**	(△47)	(△0.3)
	うち有料特急	(4,735)	**(5,234)**	(499)	(10.5)
旅客運輸収入	定期	13,260	**13,582**	321	2.4
	定期外	31,489	**32,463**	973	3.1
	計	44,750	**46,045**	1,295	2.9
	うち成田空港発着	(15,873)	**(16,352)**	(478)	(3.0)
	うち有料特急	(4,856)	**(5,346)**	(490)	(10.1)

以 上